



上尾ロータリークラブ

2023-2024年度R.I.テーマ

世界に希望を生み出そう

第2976回 例会
2023. 7. 13

会長あいさつ



2023-2024年度 長沼 大策会長

週報 No.2230
発行 2023年 7月 20日

2023-2024年度
会長 長沼 大策
幹事 坂本 忠光
副会長 門崎 由幸
副幹事 小田切宏治
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 尾花 正明

行事予定

- 7月27日 納涼例会
於:天ぶら天笠
- 8月3日 早朝例会
- 8月10日 定款の規定により休会
- 8月17日 会員卓話
小林邦彦パスト会長
- 8月24日 社会奉仕事業
NPO法人グループに
ミシンを寄贈
&ブルーベリー摘み
- 8月31日 会員卓話

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。先週の初例会でお話した「サーバントリーダー」は耳慣れない言葉だったかもしれませんが。本日はSergent At Armsでお話ししたいと思います。略するとSAAです。前年度の会長あいさつの中で紹介されました。直訳すると「武器を持った軍曹、武装した武者」となり、RCの例会、その他の会場で会場を監督し、秩序正しく和やかな雰囲気での会をスムーズに進める責任者です。SAAの具体的な仕事は、座席は足りているか、食事は行き渡っているか、資料はすべて配られたか、例会終了後の備品の忘れはないか、例会中の私語防止、無断退席者への注意喚起、来客や会員を笑顔で迎え入れるなどがあります。司会進行を兼務しているクラブもありますが、SAAの本来的役割は会場の見張り（現場監督）です。SAAの語源は、中世イギリスの王室・議会・法廷・社交クラブ等の守衛官に遡ります。ロータリークラブ草創期には親睦・互恵派と奉仕・拡大派に分かれて激論が交わされていたようであり、また日本でも1929年から始まった世界恐慌、そして第二次世界大戦前頃、軍のスパイ・産業スパイがいなかったか、とげとげしい状況・時代の中で仲裁役も担っていたのかもしれない。

話を交えて笑顔について触れておきます。ニコニコBOXという文字が用紙に記載されています。例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱のことで、会員、家族、事業所等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、喜びを分かち合い、また失敗したり、迷惑をかけたときもユーモアたっぷりに苦笑し、例会を賑わせて親睦を増進し、集まったお金は主として奉仕活動資金に使うものです。当クラブのメッセージは例会主題について画一的に書かれていることが多いのですが、他クラブのスマイル発表時は、1週間に起きた様々な出来事が報告され、会員間の親睦の一助になっています。ぜひ楽しかったことや嬉しかったことを記入し、会場を笑いの渦に包んでいただきたいと思います。

本日の例会主題は上尾夏まつりについてです。例会後は今年度第1回目の理事会も開催されます。どうぞよろしく願いたします。



ROTARY CLUB OF AGEO

幹事報告

坂本 忠光 幹事

◇7月22日を皮切りに、各部門のセミナーが始まります。参加予定者さんは、よろしく出席のほどお願い申し上げます。



委員長報告

60周年実行委員会 大木保司実行委員長

本日、皆さんに60周年記念誌をお配りしました。皆さんもコメントにはお祝いコメント・メッセージをお寄せいただきありがとうございます。とても良い仕上がりだと思います。式典等に参加された方、台南東北RCさんなど、順次発送していきたいです。



ショートスピーチ

小田切 宏治 会員

毎日暑い中、毎年この時期になると、当社は従業員の熱中症対策など体調管理に追われて忙しくなります。当社は社員の高齢化もあり傷病者の発生が続いています。困ったなと思っていたところ、今月に入ったら、今さらながらコロナのクラスターで3〜4人が休みはじめてました。自分も軽い症状のコロナを体験しましたので、1週間もすれば出社するだろうと考えていたところ、1人連絡がつかなくなりました。慌てて社員の自宅に訪ねたら症状が重く、血中酸素を測る機器を置いてきて数値が悪かったら救急車を呼ぶよう指示をしてくれました。コロナは第5類に移行したのでマスクを外して話していますが、まだまだ油断できないというのが個人的な感想です。ロータリークラブの皆さんのお知恵をお借りしながら、この状況を乗り切ろうと思えます。



例会主題

上尾夏まつりについて

尾花 正明 会員

本日は、上尾夏まつりの概要と歴史を話し、その後、齋藤哲雄会員に現状を話していただくと思います。



日本には30万を超える祭りがあり、花形は神輿と山車ですが、上尾夏まつりには8基の神輿と3台の山車が渡御・巡航しています。神輿は、「そこに神様が乗る」もので、氏子が担ぐ神輿に乗って地域に出て、安寧な姿を見て慶び、家々に徳を与えて回るものです。山車は「神様に降りてきてもらうための目印」、ここが祭場ですと示すものなので、見つけやすいように目立つことが重要です。お清めの意味もあるので町内を巡行、邪気を払う役目果たします。

山車についてお話しさせていただきます。キリンの上に高欄が設置されて人形等が乗っているのが山車で、旧上尾には4台の山車・屋台があります。現在上尾祭りには3台の山車が参加しておりますが、もう1台は、上町が所有しております。



上町の屋台の写真(尾花会員より)

上町は屋台で、仲町・愛宕・宮本は山車です。上町の屋台は修繕しないと動かせない状態です。仲町の山車の彫刻は中山道延線では本庄の山車に引けを取らないものであり、弘化4年（江戸末期）作成でその後何回となく修繕を重ねております。江戸城・川越城築城に携わった太田道灌の人形が乗っております。明治34年作成の川越連雀町の囃子は堤崎から指導しており、仲町にも堤崎から囃子が指導に来た関係で修復の際、同じ人形にした経緯があります。川越の仲町文久年間の1862年作成されていまして、川越のとび職協力。愛宕の山車はひと回り大きく大正年間に作られたもので、その前の山車は清河寺に売却したと聞いております。愛宕の山車に乗っている人形はヤマトタケルです。



ROTARY CLUB OF AGEO



仲町の山車。太田道灌が乗る。



愛宕の山車。ヤマトタケルが乗る。



宮本町の山車は新しいのですが、彫刻も素晴らしく、人形を乗せるために資金集めに取り組んでいると聞いております。

次に祭の歴史についてお話しします。神輿の棟札（むねふだ）に牛頭馬頭（ごずばとう）という箱書きから推察すると江戸時代中後期から上尾でお祭りが行われていたようです。上尾祭りの発祥は上尾宿の総鎮守である氷川神社氏子です。当時は上町・仲町・下町がお祭りを行っていました。戦前は上町と仲町の一部を分割して宮本町が誕生し、下町と言っていた地域が愛宕町になり、旧上尾宿の四町内の祭となりました。戦中なくなっていた祭りは、昭和22年ころに復活し、戦後はお金がなかったので「本祭」（山車も神輿もある大きな祭り）と、「陰祭」（神輿だけの祭り）を一年おきに、経済的なことを考えながら開催していました。祭りに関して長老から、神輿や山車の修繕には1,000〜2,000万円ほどかかるので、「雑に扱うな」とよく聞かされました。

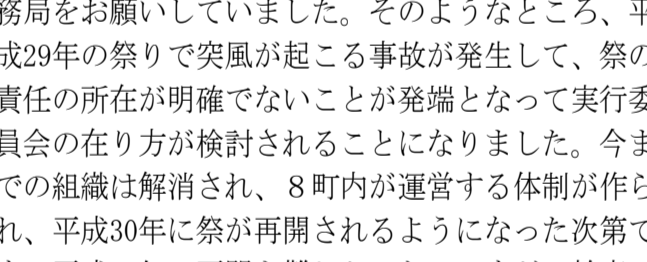
昭和38年頃、上尾駅前には四基の神輿が集結し大渋滞になって十年間ほど神輿渡御が中止になり、町内によっては子供神輿・太鼓山車巡りだけを行っていた時代があります。昭和43年、市制施行十周年に、四町内（上町・仲町・宮本町・愛宕町）の神輿にて渡御を開始します。渡御を開始するのですが、もともと上尾市の神輿は、喧嘩神輿で荒っぽいものでした。そのような神輿は時代背景もあり、近隣から支持されないであろうということで、昭和53年にちゃんとした神輿の担ぎ方をしようという話し合いが行われました。

柏座・谷津も加わり六町内にて連合渡御されるようになり、昭和55年に当時の星野会頭・署長・荒井県議・尾花県議・樋口実行委員長が交渉をして「県警交通安全キャンペーン」の一環として、埼玉県警察本部音楽隊が祭の前にパレードを行って、歩行者

天国が許可され現在の形になりました。小学校の鼓笛隊なども加わり、その頃、青年会議所が主催して、ちびっこたる神輿巡行・民謡流しが行われました。「交通事故防止運動」の一環として行われている祭ということを意識づけていかないと主旨が変わってしまうかなと思っています。警察署長との話し合いでじゅうぶんに注意しないといけないのですが、その一方で神輿のトンボに乗る若衆頭がいて、それが恰好いいと勘違いしたのでしょうか、神様が乗っている神輿に背を向けるとは失礼極まりありません。祭は神事です。

昭和63年に二ツ宮が加わり七町内に連合渡御となり、平成元年は昭和天皇が崩御されて夏祭りは中止、平成2年に本町が加わり八町内の現在の形による連合渡御となりました。

事務局の話をします。以前は上尾商工会議所に事務局をお願いしていました。そのようところ、平成29年の祭りで突発が起こる事故が発生して、祭の責任者が明確でないことが発端となって実行委員会の在り方が検討されることになりました。今までの組織は解消され、8町内が運営する体制が作られて、平成30年に祭りが再開されるようになった次第です。平成30年の再開も難しかったのですが、柏座の元上尾市議会議長をされた下里孝典氏に実行委員長をお願いし、駅東口から始まった祭であることから、



交通安全防止運動展開中

私は副実行委員長を3年間務めました。現在は大室さんに事務局長をしていただき、齋藤哲雄さんに副実行委員長を務めていただいています。

7月16日（日）は最高気温が37度になるようで、齋藤副委員長をはじめ、町内会員なられた大塚信郎パストガバナ、以前若衆頭をされた大木保司パスト会長にもがんばっていただき、私は後方支援をしたいと思っています。どうぞよろしく願いたします。

齋藤 哲雄 会員

尾花さんに歴史のお話をしていただきましたので、私は副実行委員長という肩書があるので現在の尾尾夏まつりをお話いたします。私は二ツ宮町内会に所属しています。市制施行30周年の時、上尾商工会議所が上尾市内全域に公募をかけた説明会を行い、それまで6町だった上尾夏まつりに二ツ宮も加わりました。なので二ツ宮はそれ以来35年、お祭りに参加しています。



平成29年、突風による事故が起き、上尾商工会議所さんが運営組織の中心から手を引いたため、警察署から責任の所在を設けなければいけないと指導を受けました。前々から輪番制で実行委員会組織を組んでいたのですが、形だけだったので今までの組織は解消し、新たに8町内が運営する実行委員会が組織され、今年で6年目になります。令和2・3年はコロナでお祭りができず、令和4年に周りの皆さま方にも協力をお願いして神輿が担げ、盛大に夏まつりが開催できました。今年に関しては2月か

ら実行委員会を行い、宮本実行委員長から「コロナ前に戻し、さらに盛大にお神輿を担ごう」となりましたので、今年はおおきに皆さま方に楽しんでいただこうと考えています。

上尾ロータリークラブとしては令和元年の須田年度にゴミ箱を寄贈していただきました。今年協賛金をいただきました。本日出席されている方には個人的に協賛金をいただいている方もいてたいへん助かっています。

上尾駅東口前のロータリーを中心に中山道は12時から21時30分まで交通規制が敷かれ露天道が並びます。神輿や山車のほか、今年は催し物も多く参加をしています。今年は早稲田大学のよさこいソーランの東京花火という120名のサークルが加わります。

祭の後の清掃は8町内でもちろん行いますが、昭栄産業さんが翌朝5時からゴミ処理を行ってくださり、朝7時にはきれいな状態にさせていただきます。いつもありがとうございます。

ぜひ上尾夏まつりをお楽しみください！



スマイル 尾花会員・齋藤哲雄会員 上尾夏まつりの貴重な歴史を披露いただきありがとうございました!!

- 長沼会長／門崎副会長／坂本幹事／小田切副幹事／大塚信郎会員／村岡会員／尾花会員／大木保司会員／島村会員／齋藤博重会員／関口和夫会員／齋藤哲雄会員／須田会員／樋口会員／宇多村会員／齋藤修弘会員／大木崇寛会員／関口良康会員／山崎会員／寺脇会員

出席率	
会員数	34
出席免除	7
出席対象者	28
出席者数	20
	71.43%

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

